

人は「ことば」によって 変わる

あのばあちゃんは いつも涙声で言った

「差別されて腹が立ってもぜったいに手を出したらいかん。

言葉で言いなさい」と

怒り 悲しみ 恨み くやしき 不条理 矛盾 いらだち

これらすべての義憤を ことばに変えて 相手に伝えなさい

だから「教育がいる」 「勉強しなさい」と

「ことばが大切」と

「言葉の暴力」に抗いつづけた人たちは 百年前に ことばを遺した

「人間を[※]勦（いたわ）るか^の如き運動は かえって多くの兄弟を墮落させた

ことを想えば 此際吾等の中（うち）より 人間を尊敬する事によって

自ら解放せんとする者の集団運動を起こせるは 寧ろ必然である」と

「人間を尊敬する」という言葉は 百年の時空を超えた

尊敬すべきは まずは自分自身なのだ

自分を大切にできずして 他者を大切にできようものかと

自他を尊敬することによって 差別なき平和の実現をと

他者を尊敬することによって 戦争なき世界の実現をと

百年の積日を経て 人の世に熱と 人間に光を求めた「ことば」は

いまを生きる わたしたちに探し求めよと

「人を大切にできる本物のことば」をと

「人を大切にする七色のことば」をと

※「勦（いたわ）る」…ぬすむ、かすめとる、ほろぼす、断つ、ころすなどの意

